胆振地域公共交通計画推進管理状況（概要）

資料1－1

基本方針　1　持続可能な公共交通の維持・確保

目　標　1　公共交通の担い手確保、3　官民連携による取組の推進、4　公共交通の利便性向上・利用の促進

R６年度の主な取組（成果）

施策①　公共交通を担う人材の確保に向けた魅力発信や自治体施策との連携

「移住オンラインセミナー」の様子

・移住オンラインセミナーを開催し、移住後の働き先の一つとして選択してもらえるよう、交通事業者から待遇や業務内容の案内を行った〈北海道、道南バス、あつまバス〉

・第二種免許取得費に対する助成を実施〈室蘭市、安平町〉

・バスドライバー確保に向け、採用説明会と運転体験会を実施し、より多くの人に仕事内容を知ってもらい、バス事業を身近に感じてもらえるよう取組を実施した〈道南バス、あつまバス〉

施策②　地域内外に向けた情報提供の継続的な実施

・町内全ての公共交通機関で使用可能な共通回数乗車券の運用を行い、公共交通の利用促進を行った〈安平町〉

・高齢者等に対する、バス利用費助成を行い、公共交通の利用促進を図った〈室蘭市、厚真町、洞爺湖町、安平町〉

施策③　広域交通等の維持・最適化に向けた連携体制の構築による取組の推進

・協議会への出席や各市町・事業者間での個別協議を実施し、公共交通の維持・確保に向けた取組を実施した。

R７年度の主な取組

■運転手確保に向けた施策の実施（チラシ・ポスター等の作成・配布や関東・関西圏への移住フェア出展等）[市町、振興局、事業者]
■第2種免許取得費に対する助成[室蘭市、安平町]
■引き続き、協議会や個別協議を行い、今後の取組の検討や情報の共有を行う[関係機関]

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）
公共交通利用者数（1人あたり利用回数）【地域間幹線系統・広域生活交通路線】	1,730千人（R4） （4.6回/人・年度）	1,885千人（R5） （5.1回/人・年度）	1,885千人（R10） （5.4回/人・年度）
公共交通の収支率【地域間幹線系統・広域生活交通路線】	46.3%（R4）	54.1%（R5）	54. 1%（R10）
公共交通への公的資金投入額【地域間幹線系統・広域生活交通路線】	396,142千円/年度（R4）	459,449千円/年度（R5）	459,449千円/年度 （R10）

胆振地域公共交通計画推進管理状況（概要）

資料1－1

基本方針　2　幹線・広域・生活圏交通が一体となった接続性の向上

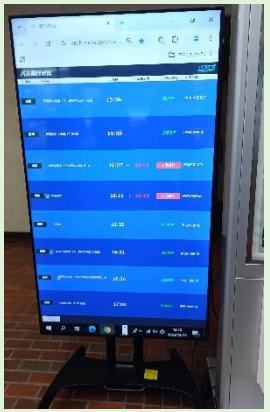
目　標　1　公共交通の担い手確保、3　官民連携による取組の推進、4　公共交通の利便性向上・利用の促進

R６年度の主な取組（成果）

施策⑤　幹線交通と広域交通、生活圏交通のシームレス化のさらなる推進

・デジタルサイネージを導入し、観光客のみならず、地域住民にとっても利用しやすい地域交通を整備することで、公共交通利用者の利便性向上を図った〈伊達市、洞爺湖町〉

・スマホやパソコンで、バスの走行位置等をリアルタイムで把握することのできるバスロケーションシステム（バスキタ道南）の周知を行った〈道南バス〉



「デジタルサイネージ」設置の様子（伊達市役所）

施策④　広域交通等の利用実態を踏まえた路線最適化の実施

・路線の利用実態等を鑑み、関係市町及び交通事業者で協議を行い、系統の廃止や既存路線の経路変更等により路線の最適化を行った〈北海道、関係市町、道南バス〉

・西いぶり地域路線最適化に向けて、委託事業及び各種アンケート調査を実施〈協議会〉

・バス路線廃止に伴い、コミュニティバスやデマンドタクシーの実証運行を実施（R6.10～）〈伊達市、洞爺湖町〉

R７年度の主な取組

■自動車運送業への再就職支援イベントの実施[市町、事業者、振興局]
■デマンドタクシー等を活用した交通空白地輸送事業の検討・実施・見直し[伊達市、洞爺湖町、安平町]
■路線最適化の検討・実施[市町、事業者、振興局]

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）
公共交通利用者数（1人あたり利用回数）【地域間幹線系統・広域生活交通路線】	1,730千人（R4） （4.6回/人・年度）	1,885千人（R5） （5.1回/人・年度）	1,885千人（R10） （5.4回/人・年度）
公共交通の収支率【地域間幹線系統・広域生活交通路線】	46.3%（R4）	54.1%（R5）	54. 1%（R10）
公共交通への公的資金投入額【地域間幹線系統・広域生活交通路線】	396,142千円/年度（R4）	459,449千円/年度（R5）	459,449千円/年度 （R10）

胆振地域公共交通計画推進管理状況（概要）

資料1－1

基本方針　3　公共交通の利用促進による持続性の確保

目　標　2　公共交通利用に対する意識醸成、3　官民連携による取組の推進、4　公共交通の利便性向上・利用の促進

R６年度の主な取組（成果）

施策②　地域内外に向けた情報提供の継続的な実施

・市町とバス事業者が連携したバスの乗り方教室の開催し、バスの乗降を実際に体験してもらい、地域住民のバス利用へのきっかけづくりを行った〈室蘭市、苫小牧市、登別市、道南バス〉

・公共交通の需要拡大と利用定着を目的に、ノーカーデーの取組を実施〈北海道〉

・ダイヤ改正に合わせて、公共交通マップ等の更新・配布を実施〈室蘭市、登別市、伊達市、厚真町、洞爺湖町、安平町〉

・コミュニティタクシーの利用方法をとりまとめた動画の作成、時刻表（兼チラシ）の内容の見直しをし、公共交通利用促進セミナーの参加者と意見交換を実施〈壮瞥町〉

・バスとJRの接続を記載した共通時刻表を作成〈苫小牧市、厚真町、むかわ町、JR北海道〉

「ノーカーデー」周知チラシ

R７年度の主な取組

■交通事業者による採用説明会等の実施、協力[市町、事業者、振興局]
■Maas事業の実施・検討[伊達市、豊浦町]※他関係機関も適宜協力
■総合時刻表や公共交通ガイドマップの作成及び配布[登別市、伊達市、豊浦町、厚真町、洞爺湖町、安平町]

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）
公共交通利用者数（1人あたり利用回数）【地域間幹線系統・広域生活交通路線】	1,730千人（R4） （4.6回/人・年度）	1,885千人（R5） （5.1回/人・年度）	1,885千人（R10） （5.4回/人・年度）
公共交通の収支率【地域間幹線系統・広域生活交通路線】	46.3%（R4）	54.1%（R5）	54. 1%（R10）
公共交通への公的資金投入額【地域間幹線系統・広域生活交通路線】	396,142千円/年度（R4）	459,449千円/年度（R5）	459,449千円/年度 （R10）